



平成30年9月21日

各位

会社名 株式会社サカタのタネ
代表者名 代表取締役社長 坂田 宏
(コード番号1377 東証第一部)
問合せ先 取締役上席執行役員 宇治田明史
管理本部長
(TEL. 045-945-8800)

当社造園緑花事業の当社完全子会社への会社分割に係る 吸収分割契約（簡易吸収分割）の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が営む造園緑花事業を、当社の完全子会社であるサカタのタネグリーンサービス株式会社（以下、「SGS」）に承継させる会社分割（以下、「本会社分割」）に関する吸収分割契約を締結することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本会社分割は、100%連結子会社を対象とする簡易吸収分割のため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

1. 会社分割の目的

当社は、種苗会社として自社の開発した花の品種を公園や庭園に普及したいという創業者の思いを受け、「サカタのタネ庭園部」を昭和9年(1934年)に社内に設立いたしました。以降、造園緑花事業として展開しており、現在では商業・住宅空間のランドスケープ設計から施工・維持管理、都市公園などの緑花空間の演出や指定管理者業務、そして競技場の芝生の造成や維持管理などにおいて、植物のプロである種苗会社の強みと高い技術力、企画提案力を生かした「造園緑花事業」を展開しております。当社は、この長い歴史と実績のある「造園緑花事業」をさらに成長・拡大させていくために、今まで以上のスピード感を持ち、多様な人材を生かして事業を遂行できる体制とするべく、グループ内に造園緑花事業に特化した子会社を設置の上、今回、当該子会社に造園緑花事業を移管し、植物の専門知識とオリジナルの種苗を持つ強みを生かした施工・維持管理等を積極的に展開し、お客様に対してより付加価値の高いサービスを提供するとともに、新規顧客の開拓を積極的に進めていき、造園業界のリーディングカンパニーになることを目指して参ります。

なお、当該子会社には、2018年10月31日付で日産自動車株式会社の完全子会社である株式会社日産クリエイティブサービスのグリーンサービス事業および指定管理者事業の譲り受けにつきましても決定しており、今回の当社の造園緑花事業の移管と共に、株式会社日産クリエイティブサービスの一部事業が当社グループに加わることで、収益基盤の更なる強化を図っていきます。

2. 会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

当社取締役会における吸収分割決議日	平成30年9月21日
SGS 取締役会における吸収分割決議日	平成30年9月21日
吸収分割契約締結日	平成30年9月21日
SGS 株主総会における吸収分割決議日	平成30年10月9日（予定）
分割期日（効力発生日）	平成30年11月1日（予定）

(注) 分割会社である当社においては、本会社分割は会社法第784条第2項の規定に基づく簡易分割の要件を満たすため、株主総会の承認を得ずに行います。

(2) 会社分割の方式

当社を分割会社とし、SGS を承継会社とする吸収分割（簡易分割）です。

(3) 会社分割に係る割当ての内容

SGS は、普通株式 80 株を発行し、当社に対して割当てます。

(4) 新株予約権及び新株予約権付社債に関する取り扱い

該当事項はありません。

(5) 会社分割により増減する資本金

本会社分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

SGS は、本会社分割における造園緑花事業を遂行する上で必要と判断される造園緑花事業に係る資産、負債、契約上の地位、その他の権利義務を承継する予定です。

(7) 債務履行の見込み

本会社分割において、SGS が負担すべき債務については、履行の見込みに問題がないものと判断しております。

3. 会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (平成 30 年 5 月 31 日現在)	承継会社 (平成 30 年 5 月 31 日現在)
(1) 名称	株式会社サカタのタネ	サカタのタネ グリーンサービス株式会社
(2) 所在地	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目 7 番 1 号	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目 7 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 坂田 宏	代表取締役社長 荒川 弘
(4) 事業内容	1. 種子・苗木・球根・農園芸用品の生産および販売、書籍の出版および販売 2. 育種・研究・委託採種技術指導 3. 造園緑化工事、温室工事、農業施設工事の設計、監理、請負	造園緑花事業・指定管理者事業 (①住宅・商業空間の造園設計・施工・管理、②屋上・壁面・インドア緑花の商品開発・設計・設置・管理、③公園等における都市緑花空間の企画設計・整備施工・管理および指定管理、④花景観空間のプロデュース・設計・施工・管理、⑤競技場・ゴルフ場の芝生種子の販売及び競技場の芝生造成・管理)
(5) 資本金	13,500 百万円	90 百万円
(6) 設立年月日	昭和 17 年 12 月 11 日	平成 30 年 4 月 12 日
(7) 発行済株式数	48,410,750 株	175 株
(8) 決算期	5 月 31 日	5 月 31 日
(9) 大株主及び持株比率	有限会社ティーエム興産 16.90% 株式会社みずほ銀行 4.99% 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 4.53% (信託口)	株式会社サカタのタネ 100%

	株式会社三井住友銀行 4.42%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 3.48%	
	(信託口)	
(10) 直前事業年度の経営成績及び財政状態		
決算期	(株)サカタのタネ (連結)	サカタのタネグリーンサービス(株)
	平成 30 年 5 月期	平成 30 年 5 月期
純 資 産	99,654	174
総 資 産	121,612	175
1 株 当 たり 純 資 産 (円)	2,210.82	999,925.62
売 上 高	62,412	-
営 業 利 益	7,553	-
経 常 利 益	7,880	△0
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	5,767	△0
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	128.16	△74.38

(単位：百万円。特記しているものを除く)

4. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

当社開発のオリジナルの種苗と種苗会社としての植物の専門知識を生かした、商業・住宅空間のランドスケープ設計から施工・維持管理、都市公園などの緑花空間の演出、競技場の芝生の造成や維持管理等の造園緑花事業および指定管理者事業。

(2) 分割する部門の経営成績 (平成 30 年 5 月期)

売上高 1,176 百万円

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格 (平成 30 年 8 月 31 日現在)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	307 百万円	流動負債	234 百万円
固定資産	5 百万円	固定負債	-
合計	313 百万円	合計	234 百万円

(注) 平成 30 年 8 月 31 日現在の貸借対照表をもとに算出しているため、実際に継承される金額は上記金額に効力発生日までの変動を加減したものとなります。

5. 会社分割後の当事会社の状況

	吸収分割存続会社
(1) 名 称	株式会社サカタのタネ
(2) 所 在 地	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目 7 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 坂田 宏
(4) 事 業 内 容	1. 種子・苗木・球根・農園芸用品の生産および販売、書籍の出版および販売 2. 育種・研究・委託採種技術指導
(5) 資 本 金	13,500 百万円
(6) 決 算 期	5 月 31 日

6. 吸収分割承継会社の概要

		吸収分割承継会社
(1)	名 称	サカタのタネ グリーンサービス株式会社
(2)	所 在 地	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 荒川 弘
(4)	事 業 内 容	造園緑花事業・指定管理者事業（①住宅・商業空間の造園設計・施工・管理、②屋上・壁面・インドア緑花の商品開発・設計・設置・管理、③公園等における都市緑花空間の企画設計・整備施工・管理および指定管理、④花景観空間のプロデュース・設計・施工・管理、⑤競技場・ゴルフ場の芝生種子の販売及び競技場の芝生造成・管理）
(5)	資 本 金	90 百万円
(6)	決 算 期	5 月 31 日

7. 今後の見通し

本件は、完全子会社との間の取引であることから、本会社分割による当社連結決算への影響は軽微と見込まれます。

（参考）当期連結業績予想（平成30年7月11日公表分）及び前期連結実績（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (平成31年5月期)	66,200	7,300	7,700	6,100
前期実績 (平成30年5月期)	62,412	7,553	7,880	5,767

以 上